

放水立坑（上流水槽）上流海水配管水の分析結果

要約	分析値	180～220 (Bq/L) (1,500Bq/L未満の確認)
	計算比較	計算値 (104～414Bq/L) と同程度を確認 ※2

放射能分析 トリチウム

核種	採取日時	分析結果		
		分析値 (Bq/L)	不確かさ ※1 (Bq/L)	検出限界値 (Bq/L)
H-3	2023/08/31 08:37	2.0E+02	± 2.0E+01	6.8E+00

・〇.〇E±〇とは、 $〇.〇 \times 10^{\pm 〇}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

※1 「不確かさ」とは分析データの精度を意味している。

「不確かさ」は「拡張不確かさ：包含係数k=2」を用いて算出している。

※2 「計算値」とは、測定・確認用設備で分析したトリチウム濃度とALPS処理水、海水の流量比から計算で求めた値。

「計算値」は当社ホームページに掲載している「希釈後トリチウム濃度」を指し、潮位などにより、わずかに変動するが一日をとおして変化するものではないため、原則、試料採取日の7時の値を用いて計算比較する。

[https://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1-rt/html-j/f1-alps\\_fd-month-sel-j.html](https://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1-rt/html-j/f1-alps_fd-month-sel-j.html)

分析値は、混合希釈の不確かさ(1/2×計算値～2×計算値)を考慮した計算値と比較する。